

7. 成績評価

成績評価のシステムと規則

- 1) 成績の評価は、原則として試験の成績、平常の成績及び出席状況等を総合して判断されます。
- 2) 成績評価は、A+からD及びFの12段階をもって表し、A+からDまでを合格、Fを不合格とします。合格した場合は所定の単位が与えられます。その他の成績評価としては、履修中止をW、科目未修了をI、認定科目をAP、保留をTRとします。科目を再履修した場合、成績評価の低い方にはRが付きます。
- 3) A+～Fの各評価段階について下記のように評価点（Grade Point）が付与されます。入学してからの評価点の累積評価平均値（Grade Point Average: GPA）を算出したうえ、学生の学習内容、理解度、進捗状況の目安とされます。

成績評価基準

成績 (意味)	成績点	評価点
A+	100	4.00
A (Excellent)	95-99	4.00
A-	90-94	3.70
B+	87-89	3.30
B (Good)	83-86	3.00
B-	80-82	2.70
C+	77-79	2.30
C (Satisfactory)	73-76	2.00
C-	70-72	1.70
D+	66-69	1.30
D (Poor)	60-65	1.00
F (Failure)	59 or lower	0.00

- 4) 科目によっては、上記の成績評価基準ではなく P (Pass) 及び F* (Failure) によって合格、不合格のみ判断するものもあります。合格した場合には、所定の単位を得ますが、評価点はつきません。

- 5) 累積評価平均点 (GPA) は、履修した科目の単位数と評価点をそれぞれ合計し、評価点合計を単位数合計で除した数の小数点第3位を四捨五入することによって得られます。評価が P, F*, W, I, AP, TR 及び R が付いた再履修の科目はこの計算において単位数に加算されません。F で表記されている科目の単位数は加算されます。

GPA の計算方法

成績	評価点		単位		該当科目における 取得評価点
B	3.00	X	3	=	9.00
A	4.00	X	3	=	12.00
B	3.00	X	3	=	9.00
P	-	X	2	=	-
F	0.00	X	3	=	0.00
RF	-	X	3	=	-
I	-	X	1		-
W	-	X	-	=	-
単位合計 (3+3+3+3)			12	評価点合計	30.00
GPA			30.00/12		2.50

科目未修了 (Incomplete)

- 1) 授業期間の途中において、病気やけが、事故、災害又はその他やむを得ない事情により履修を継続できない状況に陥った場合、学生は、科目未修了を申請することができます。成績には I (Incomplete) が用いられます。
- 2) 科目未修了とするためには、学生が担当教員に事情を説明し、成績を I としてもらうことが必要です。
- 3) 科目未修了が認められた場合、次の学期末までに与えられた課題を終了しなければなりません。期限までに終了できなかった場合には成績は自動的に不合格「F」となります。
- 4) 冬期プログラムは秋学期に含まれるので、春学期に科目未修了が認められた場合の課題提出最終期限は冬期プログラムの終了日となります。ただし、担当教員が上記期限よりも早い提出期限を設定する場合には、その指示に従ってください。
- 5) 担当教員は該当科目を修了するために、次の学期の授業に出席することを学生に課す場合があります。その場合、次の学期にその科目の履修登録をする必要はありません。

成績の確認

成績は ATOMS ポータルサイト (<https://csw.aiu.ac.jp/>) で確認できます。

成績の変更

- 1) ここでいう成績の変更とは科目未修了 (**Incomplete**) の場合以外の変更を指します。成績は、その成績を与えた担当教員のみによって変更することが可能です。
- 2) 成績変更は担当教員または学生のどちらでも発議することができます。成績変更は、最初に成績が付与された後 1 ヶ月以内に書面で担当教員に申し出ることが必要です。単純な誤記によるものと懲戒処分の場合はこの限りではありません。成績変更はその科目における学生の学業評価に公平性を確保するためにのみ行われます。成績を変更するためには、担当教員が変更理由（事務的誤処理、成績評価の間違いなど）を明確に記した成績変更届を提出しなければなりません。
- 3) 成績変更の決定とその理由は該当する学生に直ちに伝えられます。
- 4) 担当教員が成績変更を発議した学生の意見に同意しない場合、または学生が教員の成績決定が公平ではないと判断した場合は、学生は速やかにその決定に対する不服を表明することができます。学生は、成績変更申請書にその理由や関連する状況を記入し、教務課履修チームに提出します。研究科長は、担当教員と協議し、場合によっては学生本人とも協議した上で、成績変更について担当教員に提案します。提案内容は、学生にも伝達されます。担当教員は、提案に対し従う義務はありません。